

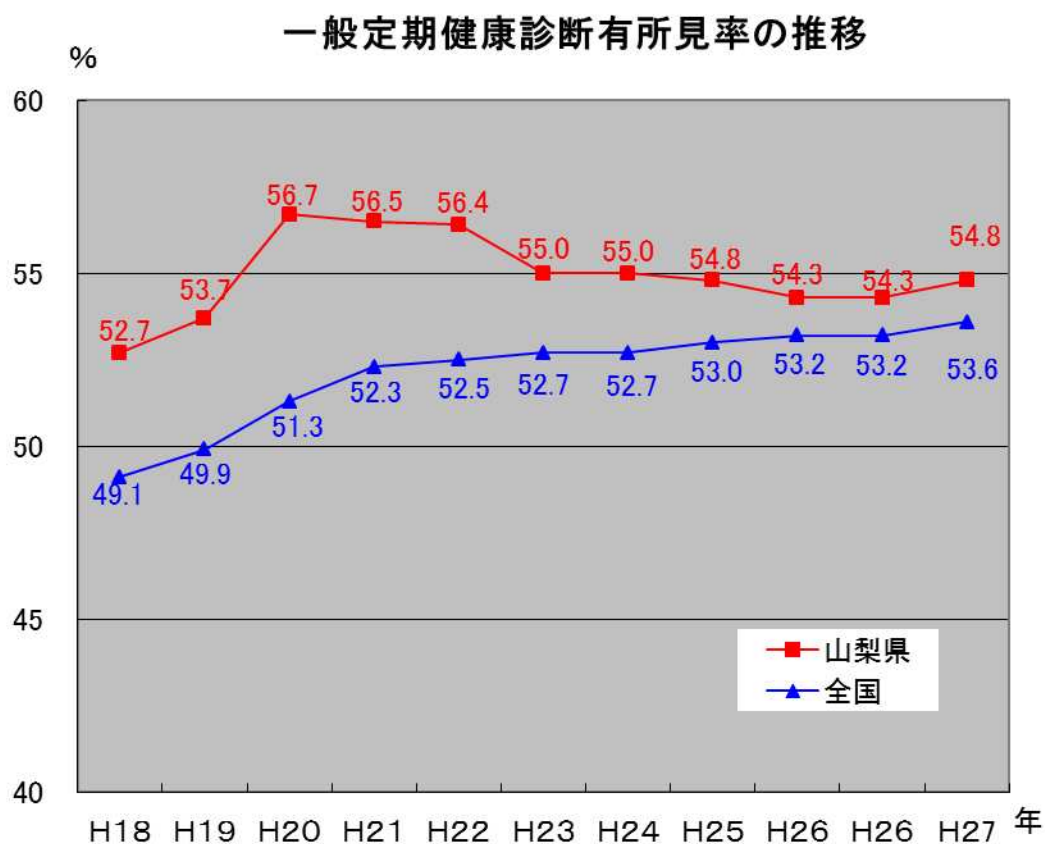
## 平成27年 健康診断実施結果

- 1 [定期健康診断有所見率の推移](#) (下記1)
- 2 [定期健康診断有所見率の検査項目別比較](#) (下記2)
- 3 [定期健康診断有所見率の業種別比較](#) (下記3)
- 4 [特殊健康診断有所見率の推移](#) (下記4)
- 5 [特殊健康診断有所見率の対象作業別比較](#) (下記5)
- 6 [じん肺健康診断有所見率の推移](#) (下記6)

## 1 定期健康診断有所見率の推移

定期健康診断における有所見率は、全国・山梨県内ともに50%を超えている。

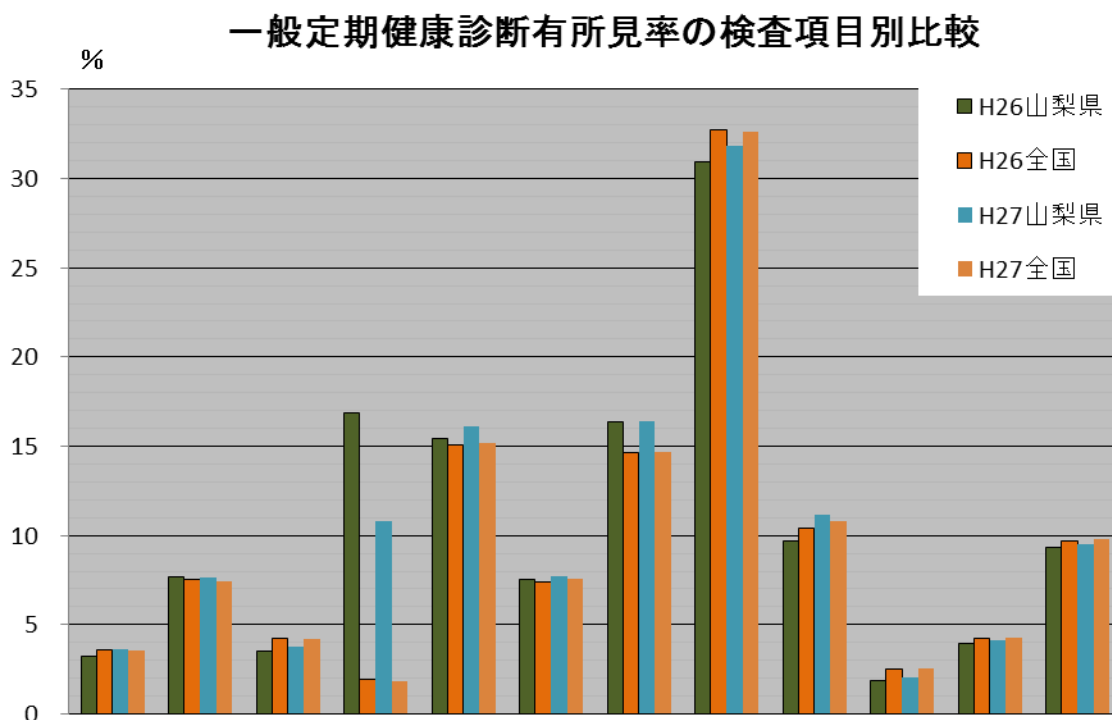
山梨県内の有所見率は、平成14年に全国を上回り、平成17年には50%を超えた。その後、平成20年をピークとして、以降は減少傾向が続いていたが、平成27年は増加に転じた。



(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

## 2 定期健康診断有所見率の検査項目別比較

山梨県内の検査項目別の有所見率を高い順にみると、血中脂質検査(31.8%)、肝機能検査(16.4%)、血圧(16.1%)、血糖検査(11.2%)の順となっている。特に、血中脂質検査の有所見率は全国・山梨県内とも30%を超えている。



(単位:%)	聴力 1000 Hz	聴力 4000 Hz	胸部 X線 検査	喀痰 検査	血圧	貧血 検査	肝機能 検査	血中脂 質検査	血糖 検査	尿 検査 (糖)	尿 検査 (蛋白)	心電図 検査
H26山梨県	3.2	7.7	3.5	16.8	15.4	7.6	16.4	30.9	9.7	1.9	4.0	9.3
H26全国	3.6	7.5	4.2	1.9	15.1	7.4	14.6	32.7	10.4	2.5	4.2	9.7
H27山梨県	3.6	7.6	3.8	10.8	16.1	7.7	16.4	31.8	11.2	2.0	4.1	9.5
H27全国	3.5	7.4	4.2	1.8	15.2	7.6	14.7	32.6	10.8	2.5	4.3	9.8

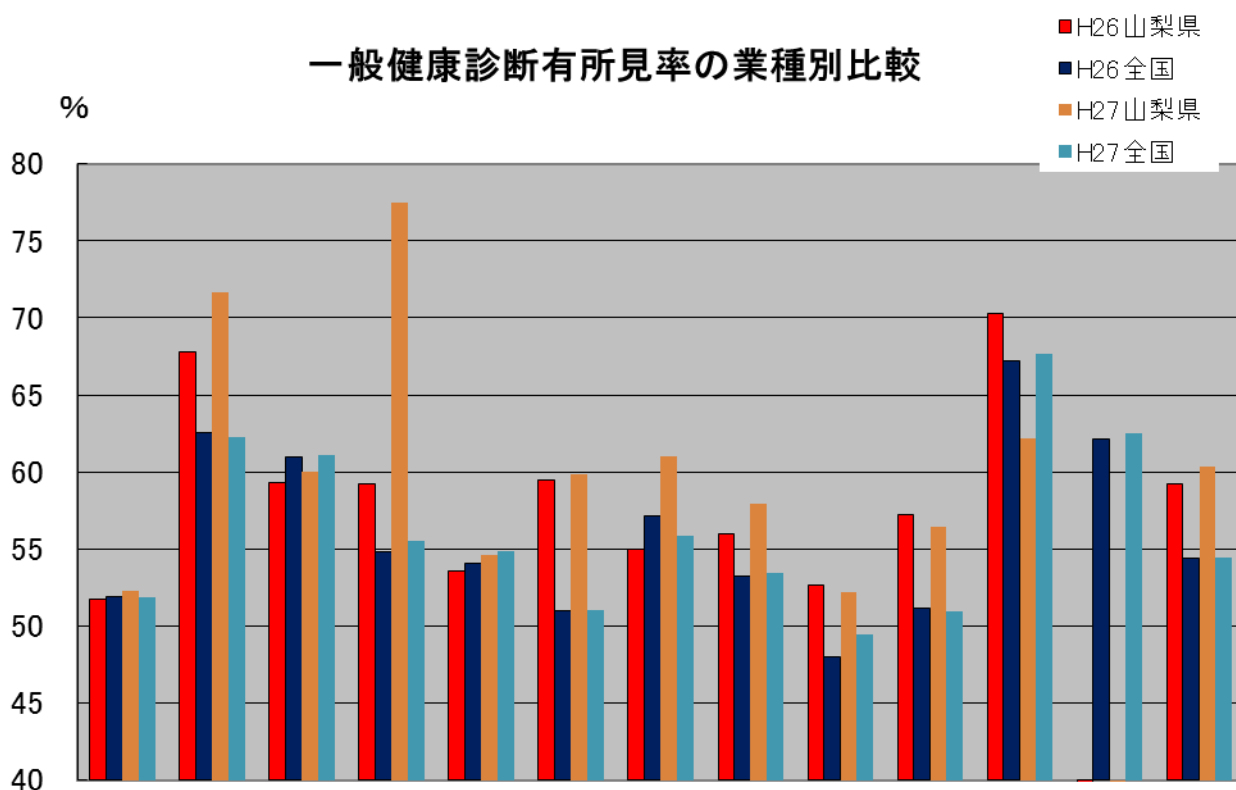
(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

### 3 定期健康診断有所見率の業種別比較

山梨県内の業種別の有所見率を高い順にみると、貨物取扱業(77.5%)、建設業(71.7%)、清掃・と畜業(62.2%)、通信業(61.0%)の順となっている。

平成27年と26年を比較すると、山梨県内の有所見率は、全体に増加傾向を示し、特に貨物取扱業で18.3ポイント、通信業で6.0ポイント、建設業で3.9ポイント増加した。一方、清掃・と畜業は8.1ポイント減少し、保健衛生業、接客娯楽業でわずかに減少した。

全国と比較すると、貨物取扱業の有所見率が特に高く、次いで、建設業、金融・広告業等の有所見率が高くなっている。



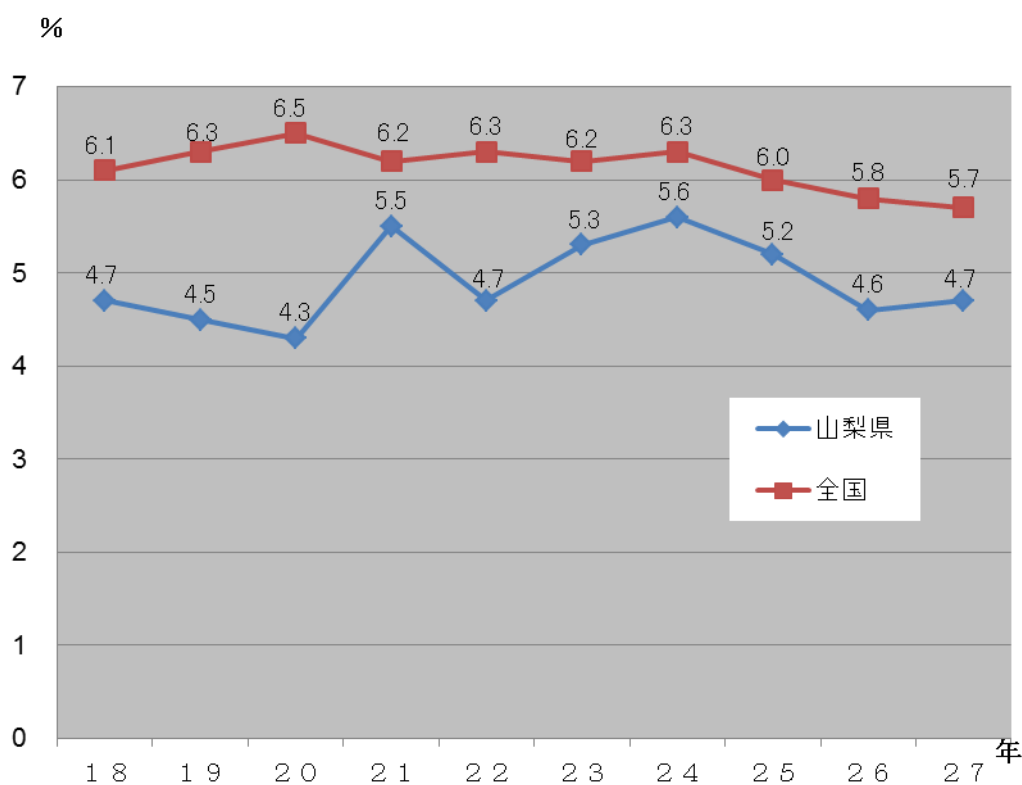
(単位:%)	製造業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	商業	金融・広告業	通信業	教育・研究業	保健衛生業	接客娯楽業	清掃・と畜業	官公署	その他の事業
H26山梨県	51.8	67.8	59.3	59.2	53.6	59.5	55.0	56.0	52.7	57.2	70.3		59.2
H26全国	51.9	62.6	61.0	54.8	54.1	51.0	57.1	53.3	48.0	51.1	67.3	62.1	54.4
H27山梨県	52.3	71.7	60.0	77.5	54.6	59.9	61.0	58.0	52.2	56.5	62.2		60.3
H27全国	51.9	62.3	61.1	55.5	54.8	51.0	55.9	53.4	49.5	50.9	67.7	62.5	54.4

(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

## 4 特殊健康診断有所見率の推移

特殊健康診断における有所見率は、全国では概ね6%台の横ばいの状況が続いていたが、平成26年以降は5%台に減少した。山梨県内の有所見率は、全国より低い状況が続いており、近年は5%台で推移していたが、26年には4%台に改善した。27年は前年から0.1ポイント増加し4.7%となった。

### 特殊健康診断有所見率の推移

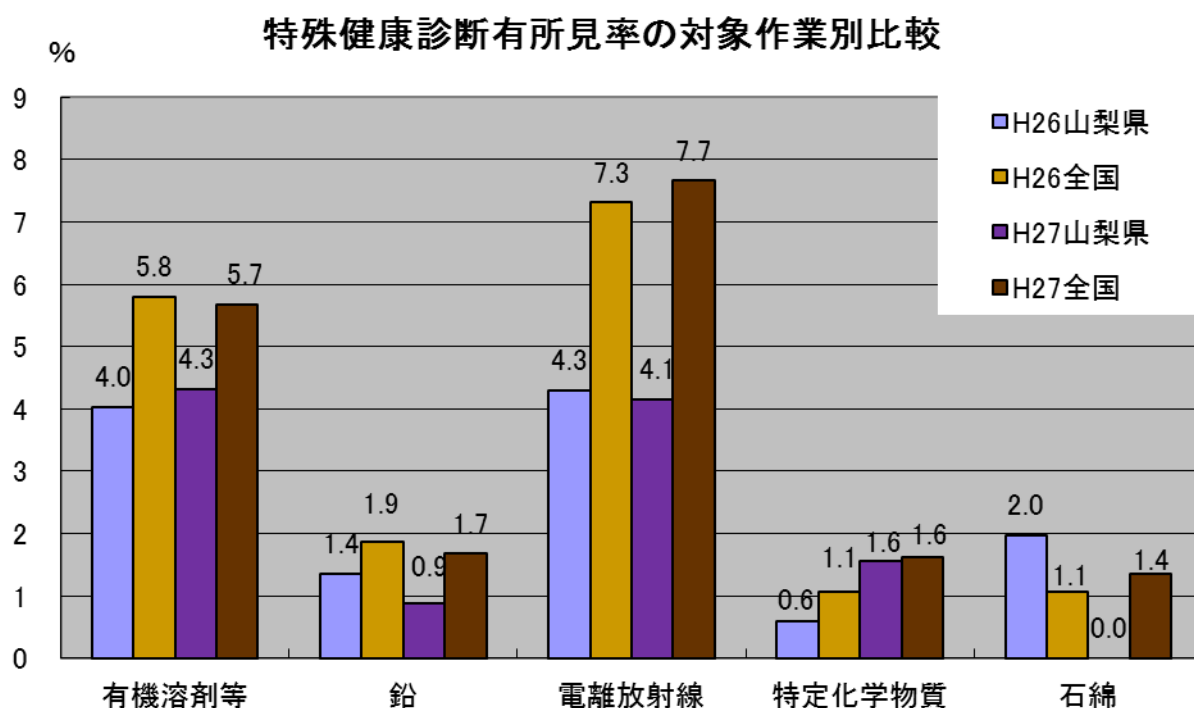


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

## 5 特殊健康診断有所見率の対象作業別比較

特殊健康診断における有所見率を対象作業別にみると、全国・山梨県内ともに有機溶剤等及び電離放射線の有所見率が他の特殊健康診断結果よりも高くなっている。

平成27年と26年の山梨県内の有所見率を比較すると、有機溶剤等、鉛で減少した一方、電離放射線、特定化学物質及び石綿が増加している。

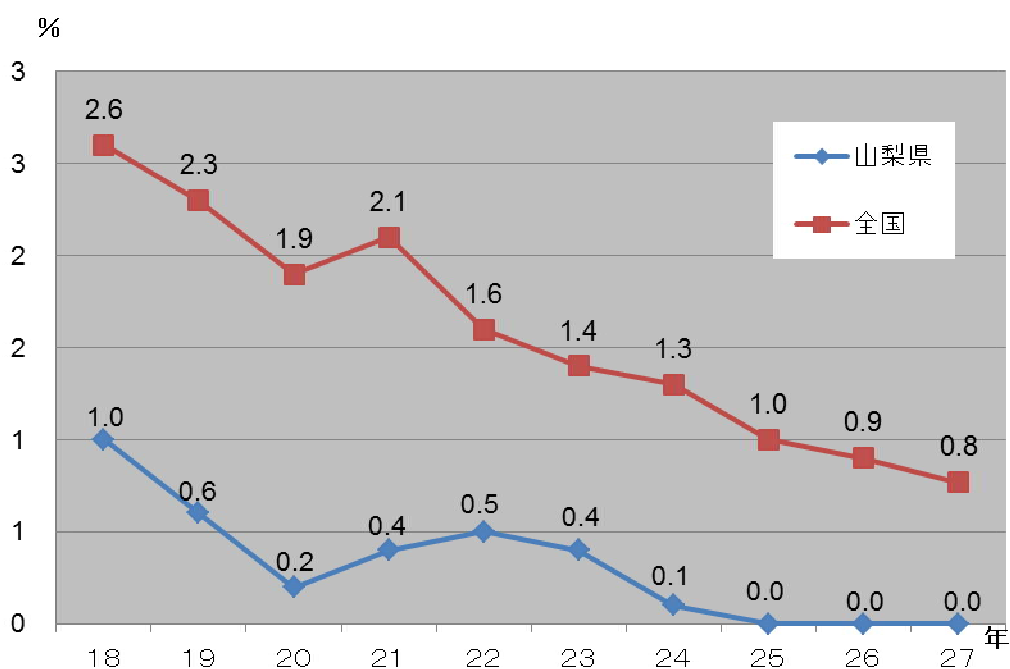


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

## 6 じん肺健康診断有所見率の推移

じん肺健康診断における有所見率は、長期的には改善傾向にあり、全国では平成26年以降は1%を下回っている。山梨県内についてみると、従前から全国と比べ有所見率は低く、近年は1%未満で推移しており、平成25年以降は0.0%となっている。

### じん肺健康診断有所見率の推移



(注)1 「じん肺健康管理実施状況報告」(じん肺法施行規則第37条)の集計結果による。

2 本統計中には、随時申請(じん肺法15・16条)によるものは含まれていない。